

本県における人権啓発活動について

1 これまでの取組み

- 県ではこれまで、毎年12月10日を最終日とする1週間の「人権週間」の期間を中心に、県民誰もが参加でき、また人権問題を日常の身近な問題として考えることができる人権啓発イベントなどを、県内全域を対象として多彩な啓発活動を実施してきた。
- スポーツ組織との連携をはじめ、法務局や市町村、県内企業など、多様な主体と連携した啓発活動を実施し、一定の成果を確認することができた。（詳細は別添資料のとおり）

2 課題

(1) 効果的な手法の検討

- これまでは「対面型」のイベントを中心として啓発活動を実施してきたが、新型コロナウイルス感染症の拡大により、令和2年度は主要な人権啓発イベント（※）がすべて中止若しくは規模縮小となった。
- 現時点においても収束が見込める状況にない一方、コロナ禍においてあらゆる人権課題が深刻化していることを鑑みると、人権啓発の重要性はさらに高まっている。
- さらに、インターネットにおける誹謗中傷をはじめ、社会情勢の変化に伴って新たに生じた人権課題への対応も求められており、効果的な啓発の手法を再検討する必要がある。

※ 湘南ベルマーレと連携・協力した人権啓発活動（ホームゲームでのブース出展・人権教室、かながわハートフルフェスタは開催見合せ、人権メッセージ展は県ホームページによるオンライン開催に縮小。

(2) 「かながわ人権施策推進指針」の普及啓発

- 啓発活動においては、人権課題全般を広く対象としてきたが、本県の人権施策の根幹をなす「かながわ人権施策推進指針」そのものの普及啓発については、県ホームページでの公開や研修資料としての配布等に留まっている。
- 今回の改定にあたっては、指針の理念を県民と共有するため、指針が県民にとって身近なものとなるよう、記載内容や構成の見直しを行うとともに、指針を広く県民に知ってもらうための啓発活動の手法等についても検討する必要がある。

3 本年度の啓発活動（予定）について

- 令和3年度についても、従前のイベントによる啓発が難しいため、次のような取組みを重点的に実施するとともに、より効果的な啓発にかかる検討を継続する。

<令和3年度の啓発活動（予定）>

- ・ 駅デジタルサイネージや交通広告によるメッセージ、動画の放映
- ・ 県庁におけるメッセージパネルの展示、市町村等への貸出
- ・ リスティング広告によるヘイトスピーチ等の未然防止

平成30年度人権啓発事業の実施報告

県では、毎年12月10日を最終日とする1週間の「人権週間」の期間を中心に、県民誰もが参加でき、また人権問題を日常の身近な問題として考えることができる人権啓発イベントなど、県内全域を対象とした多彩な啓発活動を実施しています。

1 主な人権啓発事業

○湘南ベルマーレと連携・協力した人権啓発活動

ホームゲームの入場ゲートで啓発物品を配布するほか、場外に啓発ブースを設置し、ブラインドサッカー体験コーナー、クイズ、アンケート等を実施。このほか、シーズン開幕前の恒例イベントでの啓発活動、保育園児対象の人権教室を実施

○かながわハートフルフェスタ

地域に密着した人権啓発活動として、県内各地持ち回りで毎年開催。全国中学生人権作文コンテストやとどけよう「絵とことば」のコンテストの表彰式のほか、人権啓発講演会を開催。

○人権メッセージ展

人権を身近に感じてもらえるよう、各界の著名人等から寄せられた人権メッセージを展示するとともに、来場者からの人権メッセージを募集する参加型のイベント。

2 平成30年度 実施結果

主な実施イベント	実施日	実施場所	来場者数
湘南ベルマーレと連携・協力した人権啓発活動（ホームゲーム）	平成30年9月22日	Shonan BMW スタジアム平塚	12,173名
かながわハートフルフェスタ	平成30年12月1日	平塚市中央公民館	317名
人権メッセージ展	平成30年12月8日、9日	クイーンズスクエア横浜	2,317名

3 平成30年度の啓発事業のポイント

- ①無意識的な差別に、気づきを促すための啓発を実施。
- ②実際に人権に配慮して行動できるようになるための啓発を実施。
- ③普通の生活を支えている基本的な人権を、再認識するための啓発を実施。
- ④プロスポーツチームとの連携・協力。
- ⑤人権啓発事業のPRを積極的に実施。

*見直しポイントは、過去「かながわ人権政策推進懇話会」や「神奈川県人権啓発推進会議」等において、いただいた御意見を基に設定。

4 ポイントに沿った具体的な取組み (ゴシック文字は新規)

見直しポイント	取組み内容
<p>①無意識的な差別に、気づきを促すための啓発を実施。</p>	<p><u>人権メッセージ展</u> <u>湘南ベルマーレ</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・来場者に対し、日常的な出来事の中から、人権への気づきを導き出す啓発資料を配布 <p><u>人権メッセージ展</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権問題の被害者の受け止めについて、「たいせつな宝物」に人権問題当事者のインタビューを収録 <p><u>その他</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・あーすフェスタでの啓発活動 あーすフェスタ参加者に人権啓発物品の配布、メッセージパネルの展示
<p>②実際に人権に配慮して行動できるようになるための啓発を実施。</p>	<p><u>人権メッセージ展</u></p> <p>会場ステージで来場者参加型のアトラクションを実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介助犬によるデモンストレーション ・車いすの方や目が不自由な方のサポート体験 ・障がいのある方によるステージ ・ドイツと神奈川をつなぐネットコンサート ・著名人メッセージの二次利用を実施（クイズラリー台紙） <p><u>湘南ベルマーレ</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームゲーム開催にあわせた啓発時にブラインドサッカー体験コーナーを設置
<p>③普通の生活を支えている基本的な人権を、再認識するための啓発を実施。</p>	<p><u>人権メッセージ展</u> <u>ハートフルフェスタ</u> <u>湘南ベルマーレ</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界人権宣言パネルの展示 ・世界人権宣言 70周年に関する展示 <p><u>湘南ベルマーレ</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・啓発ブースで来場者に対し、世界人権宣言を分かりやすく訳した資料を配布 ・球場の大型ビジョンを利用した啓発広報 <p><u>その他</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ラジオスポットCMにおける世界人権宣言 70周年及び差別撤廃に関する啓発 ・駅改札口付近のデジタルサイネージを活用した人権週間等の告知 ・電車内吊り広告を活用した「ヘイトスピーチ許さない。」広報

<p>④プロスポーツチームとの連携・協力。</p>	<p><u>人権メッセージ展</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・湘南ベルマーレ選手が人権メッセージを寄稿 ・保育園での人権教室 <p><u>その他</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国人の人権、ヘイトスピーチの解消及び多文化共生に関する啓発クリアファイル、性的マイノリティ啓発物品を作製し、試合会場等で配布 <p><連携・協力先></p> <ul style="list-style-type: none"> ・横浜FC（サッカー） ・ラグビーワールドカップ200日前イベント in 相模原
<p>⑤人権啓発事業のPRを積極的に実施。</p>	<p><u>人権メッセージ展</u> <u>ハートフルフェスタ</u> <u>湘南ベルマーレ</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・県広報紙、記者発表、HP、twitterでの情報発信 <p><u>人権メッセージ展</u> <u>ハートフルフェスタ</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内市町村の広報媒体を活用した情報発信 <p><u>ハートフルフェスタ</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・野球関係者に向けた広報 <p><u>人権メッセージ展</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・メッセージ寄稿者等の広報媒体を活用した情報発信

5 主な人権啓発事業の様子

○湘南ベルマーレと連携・協力した人権啓発活動



ブラインドサッカー



入場ゲートでの啓発

○人権メッセージ展



ステージの様子



当日の様子

○かながわハートフルフェスタ



表彰式の様子



講演の様子